

事業所名

児童発達支援ワンハート

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは出会いに感謝し、人と人とのつながりの中で共に成長してまいります。 ・私たちは常に向上心・探求心を持ち自己研鑽に都ため、目標に向かいチャレンジしてまいります。 ・私たちは地域づくり、地域福祉に貢献します。 						
支援方針		<p>ワンハートでは、心も体も毎日大きく成長する乳幼児時期の大切な発達に必要な刺激や安心感を十分に子どもたちが受け取れる様に、「遊び」「運動」「排泄」「人のかかわり」を大切に小集団と個別での活動を設定しています。保育園や幼稚園での園生活とワンハートで過ごす時間の中で子どもたち自身が持つ力を発揮し環境や生活リズムに対応できる力を育みながら就園・就学の準備を一緒にしていきます。</p> <p>信頼できる大人の中で個々の発達の課題に寄り添い一人一人に合った今必要な療育を受けられる環境の中で、身辺自立や家族以外の大人との信頼関係や、安心感を育むことを大切にしています。</p>						
営業時間		9時	30分	16時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	就園に向けて毎日の生活に必要な手洗い・排泄・着替えなど基本的な生活動作を身に着ける為に、毎日同じ流れの中で必要な部分のみを大人が手伝い、「自分でできる力」を伸ばしています。散歩や外遊びの時間、運動の活動の時間にたくさん身体を動かすことで元気に毎日を過ごすために必要な体力や筋力を育てています。たくさん身体を動かしながら規則正しい生活を送ることで心が安定し穏やかに毎日を送ることができる健康な心身の発達を促進しています。						
	運動・感覚	PTによる運動面でのアセスメントと心理士による特性のアセスメントにより、個々の発達の成長と特性に合わせた自立課題を毎日日課として実施しています。自立課題においては認知や視覚、手先の感覚、運動全般の発達を目的として課題内容の設定を行っています。全身運動はPTによるサーキットトレーニングやコーディネーショントレーニングなどの運動プログラムを個別と小集団の両方を実施することの相乗効果により、発達を促進する内容と環境を整えています。手先の巧緻性や感覚の発達に関しては、触る・つまむ・折り紙を折る・道具の使用などを個々の発達の合わせて提供しています。						
	認知・行動	自分で各々のスケジュールに沿って大人からの指示がなくても行動するために必要となる自主性の育ちや、気持ちの切り替え、毎日の生活リズムを身に着けるためにトランジションカードを用いたスケジュールの活用を実施しています。スケジュールや手順書の活用を通して、見通しを持ち自分で行動の統制がとれる様な仕組み作りをしています。認知する力が高まり、安心して行動に移せる力を育てています。						
	言語 コミュニケーション	子ども同士の遊びの中に大人が介入し遊びの場の設定と相手の言葉を代弁し繰り返し覚えてもらう関わりを毎日の自由遊びや活動の中で実施しています。言葉に触れる機会を増やすために、読み聞かせや紙芝居を実施し、年齢に応じた絵本が発達支援室の中にすぐに手に取れる環境設定をしています。活動の前の手順書では写真と一緒に文字の視覚化を行い、文字と言葉のマッチングの効果が上がるように提示方法の工夫を行っています。自由遊びの中でSSTを取り入れ、相互的な関わりややり取りに必要な言葉の習得を目指しています。						
	人間関係 社会性	事業所内では自分と自分以外のお友達存在を理解し、「一人で遊ぶのも楽しい」「みんなと一緒に遊ぶのも楽しい」と思える二項関係の経験の積み重ねができる様に、興味の持てる設定遊びを大人が介入して毎日実施しています。家族では難しい外食や買い物、公園や神社などに出かけることを通して地域に出て色々な人や場所などの地域や社会に触れる経験をしています。色々な大人が事業所に来て、一緒に遊んでくれる楽しい経験から人こたわりを解消し、家族以外の人も信頼できることも学んでもらい、新しい場所に行っても安心して大人を頼れる助けを呼べる心の成長を促しています。						
家族支援		母の就労確保のために単独での通所をしています。自宅で家族と過ごす時間を大切にすることを家族にお伝えする為に、家庭の状況と子どもの発達の課題（親子の関係作りと預かりのバランスなど）を勘案しながら面談を実施し時間の決定をしています。またきょうだい児と過ごす時間の確保の為に、預かりを実施しています。きょうだい児とも会話をすることを大事にしています。次年度からペアトレ事業の開始を予定しています。実際のペアトレに参加させて頂いたり、県のSVからの指導を受けて準備をしています。			移行支援		地域園への移行に向けて、毎月園の地域交流に同行を行っています。センターや他の事業所の並行通園をしているお子さんに関しては、お互いの職員が訪問し合い一緒に支援を組み立てています。ケース会も開催し今の現状の課題の整理と今後の移行への取り組みを検討しています。	
地域支援・地域連携		近隣の公園に遊びに行くことで地域の方とのつながりを作っています。また同じ年齢のお子さんたちと児童館で遊ぶ経験を通して、知らないお友達との一緒に遊ぶ経験や色々な大人と関りの経験を積み重ねています。相談支援事業所との親密なやり取りや近隣の放課後等デイサービスとの交流の機会を設け、地域とのつながりを構築しています。			職員の質の向上		強度行動障害基礎研修を職員が受講することで、基本的な自閉症支援を学んでいます。また同法人内のPTや心理士などのセラピストから基本的な知識の研修と、個々の事例やケース検討の機会を積み重ね、その子に必要な支援方法と見立てを実践的に学んでいます。相談できるセラピストがいることで支援に関する悩みをすぐに解消できる環境を整えています。	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事（お花見・海水浴・車に乗っての公園への外出・お誕生日会・夏祭り・紅葉狩り・ハロウィン・クリスマス会・初詣・豆まき・卒園を祝う会・外食練習・お買い物練習） ・保護者の方参加型の夏祭り ・放課後等デイサービスの行事への参加（キッチンカー体験、夏祭り、かき氷づくりなど） 						